

近藤宣之氏(日本レーザー代表取締役)の経営哲学

という。あとは社員の「やる気」モチベーション

赤字会社の再建策は、経営の合理化と従業員のリストラである。しかし日本レーザーは違った。「まず雇用を守る」と宣言。社員のモチベーションを高め赤字会社を23年間連続黒字の会社に変えた。「会社の株を社長が自腹で買い取り親会社に戻らない」という本気度を社員に示した

を上げるため成果主義等を取入れ就業規則は毎年変えてきた。さらに役員、社員による会社買収を実施した。こうした取り組みをしているのは日本では日本レーザーだけだ。



インタビュー

赤字を作らない！雇用を守る！！

近藤社長は「会社は雇用を守る」ことが最重要と、従業員第一主義を主張されています。

近藤 私は24歳で上場企業である日本電子(株)に入社し28歳から11年間で会社は大きく揺れ動

でも経営者は必ず赤字を出して雇用を守る責任がある」と心に刻み込みました。

経営者の不退転の決意

近藤 私が出来た前、この会社は危機的な状況でした。過剰在庫に過剰売却、不良社員による不正行為と大混乱でした。それまでは親会社の日本電子が債務保証して銀行借り入れてきていたものが、銀行から「破たん処理しなさい」と

成果主義、能力主義、理念主義を導入

と頼めば済む話です。しかしそのうちから「やはり雇われ社長だから」という目で見られてしま

近藤 1944年生。慶應義塾大学工学部卒業後、日本電子(株)入社。28歳で労働組合執行委員長に推され11年間務める。取締役米国人支配人、取締役国内営業担当を歴任。94年日本電子の子会社・日本レーザー社長に就任。07年役員・社員による会社買収を実施、日本電子から完全独立した。社長をしながら日本経営合理化協会、松下幸之助経営塾、ダイヤモンド経営塾、慶應義塾大学院ビジネススクールなどで講師を務める。東京商工会議所一号議員

社員のモチベーションいかに高めるか

近藤 金儲けにフォーカスを当てれば上場が目的になる。そして上場した途端、会社は市場を見

てくるか、日本レーザー社員として働ける。子会社の宿命です。結果、優秀な人間たちが

出資すれば社員も株主になれる

近藤 亡き父の言葉です。父は医師で軍人でした。学歴では直線コースを歩みましたが、戦争では何度も死にそうになっ

国内レーザー商社のパイオニア **おかげさまで株式会社日本レーザーは 創立50周年**

これまでも これからも 世界の光技術を 新宿から ハッシン します。

株式会社日本レーザー 〒169-0051 新宿区西早稲田 2-14-1 TEL 03-5285-0861 FAX 03-5285-0860 URL: https://www.japanlaser.co.jp/ E-Mail: jlc@japanlaser.co.jp

JAPAN LASER CORPORATION

